

会 議 録

会議の名称	平成27年度 第4回公共施設再配置・複合施設機能検討懇談会
開催日時	平成28年2月19日（金） 午前 10時30分から 午後 11時40分まで
開催場所	本庄市役所 職員厚生室
出席者	<p>（アドバイザー）小松幸夫教授</p> <p>（委員） 柿沼 光男委員、田中 輝好委員、山口 康裕委員 河田 重次委員、樋口 頼正委員、今井 勝子委員 須藤 成光委員、鈴木 隆治委員、明堂 純子委員 谷田 裕之委員、吉田 豊彦委員、永尾 路子委員 渡邊 孝広委員、種村 朋文委員、内田 睦夫委員 江原 貞治委員、茅原 博委員、清水 由紀夫委員（代理） 青木 光蔵委員</p> <p>（事務局）吉田 信解市長、奥田 謁夫副市長、今井企画財政部長、 山下部企画課長、武政企画課施設調整係長</p>
欠席者	齋藤 康雄委員、小賀野 昇委員
議題 (次第)	<p>(1) 公共施設等総合管理計画（案）の一部修正について</p> <p>(2) パブリックコメント結果について</p> <p>(3) 今後の取組みについて</p>
配付資料	<p>○事前配布資料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次第 ・資料1：本庄市公共施設等総合管理計画（インフラ編）（案） ・資料2：本庄市公共施設等総合管理計画（インフラ編）の主な修正箇所 ・資料3：本庄市公共施設等総合管理計画（インフラ編）（案）に対する意見と市の考え方 ・資料4：本庄市の公共施設等の総合的かつ計画的な管理実施フロー（案） ・参考資料1：～本庄市の公共施設等の今後の方向性～懇談会ワークショップ実施結果
その他特記事項	
主管課	企画財政部企画課

会 議 の 経 過	
発 言 者	発言内容・決定事項等
1. 開 会	
事務局	<p>本日は、お忙しい中お集まりいただきありがとうございます。</p> <p>本日2名の委員より欠席のご連絡をいただいておりますので、ご報告いたします。</p> <p>会議に先立ちまして、お手元の資料確認をさせていただきます。</p> <p>(配布資料の確認)</p> <p>それでは、次第に基づきまして、懇談会を進めさせていただきます。</p> <p>これより、平成27年度第4回公共施設再配置・複合施設機能検討懇談会を始めさせていただきます。</p>
2. あいさつ	
市長	<p>本日は、ご多用の中ご参集いただきまして、誠にありがとうございます。</p> <p>また、今年度4回目の会議ということで、毎回様々な角度から活発なご意見を賜り、厚く御礼申し上げます。</p> <p>さて、本市では公共施設等の老朽化や今後の財政的負担に対し、早くから課題意識を持ち、「公共施設の適正配置」に取り組んでまいりました。平成23年度に、公共施設再配置の先導的役割と位置付け、「はにぼんプラザ」と「アスピアこだま」の二つの複合施設の建設に着手し、平成24年度に策定した本庄市総合振興計画後期基本計画においては、「公共施設の適正な配置」を重点的な取組の一つとして掲げてきたところです。</p> <p>このような状況において、市民と行政の連携・協働の観点から、平成24年1月に「公共施設再配置・複合施設機能検討懇談会」が発足しました。発足後、同年中に3回の会議を重ね、二つの複合施設に、どのような機能を持たせ、また、どのように活用すべきかご意見をいただきました。これらの複合施設は、昨年6月に完成し、既に市民の皆様にご利用いただいています。</p> <p>その後、平成25年度に「公共施設マネジメント白書」を作成したことで、「公共施設の適正な配置」について本格的に検討する準備が整ったことにより、平成26年6月に懇談会を再開しました。再開に当たりましては、公共施設マネジメントの分野に精通している早稲田大学理工学術院創造理工学部建築学科の小松教授を新たにアドバイザーとして迎え、有識者としての意見を伺いながら会議を進めてまいりました。</p> <p>再開後、様々な団体の皆様のあらゆる視点からご意見をいただきながら、昨年度はハコモノを対象とした「公共施設再配置計画」を策定し、今年度は「公共施設等総合管理計画」の策定に向けて、市が保有するインフラに関しての基本的な考え方や全体目標、取組方針(案)等について検討を進めてきたところです。</p>

	<p>また、昨年9月には、ワークショップ方式により懇談会を開催し、「～本庄市の公共施設等の今後の方向性を考える～」という検討テーマのもと、ハコモノ施設とインフラ施設のそれぞれについて、地域の将来像をイメージした議論を行っていただきました。</p> <p>このように、お蔭様で発足後トータル11回の懇談会を重ねてまいりましたが、本懇談会の設置目的である「公共施設を持続可能な形で運営していくための再配置計画並びに、先導的役割と位置付けた二つの複合施設の機能を検討していただくための組織」としての役割は、本日の議題である「公共施設等総合管理計画」の策定をもって終了するものと考えております。</p> <p>よって、本懇談会は本日の会議をもって解散することとし、今後につきましては、現状においては全くの未定ですが、「再配置計画」や「総合管理計画」の計画期間満了に伴う更新や見直し、或いは将来仮に複合施設を建設することとなった際に、その目的により再編成するなど、社会情勢や必要性に応じて改めて組織していくものと考えております。</p> <p>これまでの皆様のご尽力に心から感謝申し上げますとともに、安全で快適な市民生活と持続的なまちづくりを目指した本市の公共施設マネジメントの取組みについて、今後ともご指導・ご協力のほどお願い申し上げます。</p> <p>いずれにしても、本日は本懇談会として最後の会議となります。本日の懇談会が、本庄市の将来を見据えた活発な意見交換の場となりますよう祈念し挨拶とします。</p>
3. 意見交換	
(1) 公共施設等総合管理計画(案)の一部修正について	
(2) パブリックコメント結果について	
アドバイザー	<p>それでは、ここからの座長を勤めさせていただきます。</p> <p>まず最初に、事務局から説明をお願いします。</p>
(資料1～資料3、参考資料1について事務局より説明)	
アドバイザー	<p>非常に細かいことで恐縮ですが、P.20以降の施設種別方針の箇条書きの先頭は■(黒四角)となっていますが、P.13の取組方針では・(中点)となっています。何か意図があって変えているのですか。</p>
事務局	<p>特に意図はありませんので、■に統一いたします。</p>
委員	<p>昨年度の再配置計画から今年度の総合管理計画と携わってまいりましたが、これまでの会議は全て、施設のユニバーサルデザインが前提のうえて話し合いが進んできたものと考えております。</p> <p>今後、施設を長寿化していくことを考えますと、将来性を見込んだ建物の建設が求められていくのだと思います。</p> <p>例えば、昭和55年に完成した本庄市民文化会館は車椅子用トイレが設置されておりますが、その12年後に完成したセルディには設置されていないという望ましくない現状があります。当時関係団体が声を上げなかったこと</p>

	<p>も一つの要因かもしれませんが、当初の設計段階で、どのようなコンセプトを持っているかが大切なことだと思います。</p> <p>今後、長寿命化の流れの中で施設を作っていくということは、ハコモノに限らず全ての施設において、インクルージブ（全ての人を排除しない）という理念のもと進められるべきです。これまで議題とはなりませんでしたが、最後の懇談会にあたり、そのようなことが前提としてあるべきことを、一言申し上げておきたいと思います。</p>
アドバイザー	<p>非常に大切な視点からご意見をいただきました。</p> <p>今のご意見とは逆な話になってしまって恐縮ですが、設計段階において40年や50年先を見据えて行うということは、実は非常に困難で、個人的にはできないと考えています。</p> <p>それではどうするのかという話になりますが、状況に応じて改修するなどの方法で手を加えていかないと施設は使えなくなってしまいます。これまでの公共施設は、大体30年で建替えるという暗黙の了解があり、その間は必要最小限しか手を加えないで、30年経過したら建替えるという前提で運営されてきたように思います。しかし、その考え方が既に破綻してしまっているため、施設を長く使うのであれば、バリアフリーの問題にしろ手を加えていく必要があります。今後は、個々の施設の状況を把握し、必要性や状況に応じて手を加えていくという方向性で進めれば、自ずと長く使えるようになるのだろうと考えています。</p>
委員	<p>本庄市立図書館は、駅から離れた場所に立地しており、現在改修工事中ですので、今後暫く建替えることはないと思います。現在の立地では駐車場が狭く、多くの方に利用していただくのが困難な状況です。今後、計画を進めていくに当たって、何とか駐車場を整備していただけるとありがたいと思っています。</p>
事務局	<p>本庄市立図書館につきましては、従来より駐車場が狭いというご指摘がありましたので、東側の民間の土地を買収しまして、今回の改修工事と併せて駐車場を増設する計画です。</p>
市長	<p>先程のバリアフリーの件ですが、本庄市民文化会館につきましては、昭和55年完成ということをお考えますと、障害者用トイレはなかったか、あったとしても規模の小さいものだったと思われます。あくまでも推測ということでご了解いただきたいと思います。恐らくトイレ改修工事を行った可能性があると考えています。なお、セルディにつきましては、ご指摘いただいたとおり承知しています。</p> <p>今後は、高齢者や障害者の方々に施設を利用していただく頻度が増えていくのだと思います。そのような状況において、手すりなどの設置は当然ですし、ご指摘のとおり前提としたうえで改修工事等を実施していくものだと考えています。</p>

委員	<p>以前、セルディで塙保己一賞の授賞式を実施した際、埼玉県中から障害者団体の代表と障害者が集まった所に車椅子用トイレがないという状況で、非常に申し訳なくて恥ずかしい思いをしたのが印象に残っています。</p> <p>障害者差別解消法の施行を4月に控えており、今後ともあらゆる面でお世話になりますのでよろしくをお願いします。</p>
アドバイザー	<p>建物保全の面から申し上げますと、トイレは20年程度で改修が必要になりますので、その際に是非バリアフリーを実施してください。</p>
委員	<p>インフラの場合、耐用年数が過ぎても問題のない施工が行われている事例があります。例えば、中仙道の雨水下水用ヒューム管は、布設後凝固剤を使用し周囲の土を固めているため、耐用年数経過後にヒューム管が破損しても流れてしまいます。</p> <p>今後計画を進めていくに当たっては、場所に応じて施工方法などを把握したうえで実施することが必要だと思います。</p>
アドバイザー	<p>非常に良い指摘で、インフラだけでなく建物もそうですが、工事のやり方によって施工状況はまちまちです。現状では、そのような情報が揃っている訳ではないと思います。これから実際に作業を行っていくに当たり、現状の実態を把握し、今後の施工実績を蓄積していくことが重要です。</p>
委員	<p>先程トイレの話が出ましたので、女性の立場から一言申し上げます。</p> <p>一般的に、ホールなどを利用したイベントに参加するのは、男性よりも圧倒的に女性の方が多く、特に高齢の女性が多いのが現状です。これから施設整備をする際は、設計段階で女性トイレの数を増やしていただきたい。はにぼんプラザについては、若干増設していただきました。</p>
アドバイザー	<p>既存建物設計当時の段階では、女性の方がたくさん参加するなどということは想定していなかったことだと思います。女性の方が積極的なのは確かですので、今後の改修等により対応していただきたいと思います。</p>
(3) 今後の取組みについて	
アドバイザー	<p>他に意見がないようですので、事務局より次の説明をお願いします。</p>
(資料4について事務局より説明)	
委員	<p>インフラの維持管理ということですが、現状で旧市街地において道路側溝がなくて雨水が溜まってしまう場所が見受けられます。そのような場所では、施設を新設するという方向性はないのですか。</p>
事務局	<p>資料1の12ページをご覧ください。</p> <p>基本原則3において、「インフラ施設の新設は真に必要なものに限定する。」となっています。真に必要なものであれば、雨水対策についても、整備計画等の経過を見ながら新設していくことになろうかと思います。</p>
委員	<p>「真に必要なもの」とは、規模は関係ないのですか。狭い通りであっても、必要であれば実施するのですか。</p>
事務局	<p>必要性に応じて実施することになります。</p>

アドバイザー	当然、全くやらないということはないと思います。
委員	市営住宅のトイレは汲取りの和式便所が多いと思いますが、高齢者で足腰の弱い方が住んでいるケースが多いため、簡易的な腰掛便座を設置してもらえるとありがたいと思っています。
アドバイザー	高齢者対策のお話だと思いますが、今後非常に大切なことです。 高齢化が進む中で、既存の市営住宅をどのように改修しバリアフリー化していくか、それとも建替えるのか、福祉や介護とも関連しますが、今後はそのような問題がたくさん出てきますので、対応していく必要があります。
委員	この計画の中にも、あらゆる所に「安全・安心」という記載があります。その中に「快適」という意味合いが含まれているのでしょうか。日常生活において、公共施設等の「安全・安心」は当たり前で、かつ「快適」に施設が利用できるということを、可能であれば付け加えていただきたいと思います。
アドバイザー	「快適」に施設を利用することも大切なことなのですが、「快適」を求めたが故にコストが増加するとなると、計画と矛盾した話になってしまいます。「快適」を維持しつつコストを抑えるのは難しい話になってきますので、ここではご意見としてお受けしておきます。
アドバイザー	進行管理について伺いますが、公共施設白書は毎年更新する予定ですか。
事務局	公共施設白書は平成25年度に作成しましたが、平成25～27年度までの3年分のデータは蓄積しています。なお、毎年白書を作り直す予定はなく、5年に1回程度と考えております。
アドバイザー	毎年白書を印刷する必要はないですが、例えば、ホームページで各施設ごとのコスト情報の推移を公開するなど、大変な作業だと思いますが、そのような仕組みづくりができませんでしょうか。 公共施設の管理に関する情報の扱いを、どのように考えていますか。
事務局	現状におきましては、「公共施設カルテ」というものを作成し、施設ごとにコストや稼働率などをグラフ化しまして、今後10年間はデータ蓄積し、推移が見られるようにしています。市役所内で情報共有が図れるように考えておりますが、自作したデータベースですので、市民への公表については今後検討していきたいと思っています。
アドバイザー	可能であれば、市民に公表していくべきだと思います。 コスト縮減や施設量削減の方針や目標を掲げたわけですから、その推移を市民に公表していくことは、市側にとっても意義のあることだと思います。 今後、計画に則って鋭意努力していただいて、結果を出すように頑張ってくださいと思います。
アドバイザー	他に意見がないようですので、これにて座長の席をお返しいたします。 皆さん、長期間に亘りありがとうございました。拙い座長でございましたが、ご協力いただきまして感謝申し上げます。
4. 閉 会	

奥田副市長	<p>長きに亘り、小松先生はじめ各団体を代表する皆様方、誠にありがとうございました。最後の会議ということでお礼を申し上げますとともに、2点ほどお話をさせていただきます。</p> <p>1点目につきましては、これまでは、言わば「使い捨ての時代」でありましたが、今後いよいよ施設を長持ちさせていく時代へと、意識改革していく必要があるということです。先程、障害者用や女性用トイレについてのご意見がございましたが、時代のニーズに応じて施設を使い続けていくために、使い捨てにならないような方法を考え、またそういった目線で皆様からご指導ご指摘いただき、施設を長く大切に利用していくべきことを再認識いたしました。今後、しっかりと取り組んでいきたいと考えております。</p> <p>もう1点目は、参考資料1でご覧いただいた内容が、今後一番重要なことだと思っています。要は「施設の多機能化」や「学校を中心とした複合化」、「利便性の高い所への機能集約」など、ワークショップにおいて皆様から非常にありがたいご意見をいただいたようです。将来、具体的に施設の統廃合や複合化の話が出てきた際には、様々な意見や要望が出てくると思いますが、建設的で前向きな議論ができるよう各団体を代表する皆様方のお力添えをいただければと考えております。</p> <p>これまで議論いただきましたことに重ねて感謝申し上げます、閉会の挨拶とさせていただきます。どうもありがとうございました。</p>
(記念写真撮影)	
事務局	<p>写真につきましては、印刷製本した計画書と併せて後日郵送させていただきます。</p> <p>皆様、どうもありがとうございました。</p>